

決議案第1号

県立中央病院と県立こども病院の統合に関する決議

令和7年第1回定例会に決議案が3名の議員から提案され、全会一致により可決されました。決議の内容は次のとおりです。

(決議案提出議員)

鈴木 宏治 議員 ・ 川村 和夫 議員 ・ 長谷川 愛子 議員



県立中央病院と県立こども病院の統合に関する決議

茨城県において、本市内に立地する茨城県立中央病院、及び水戸市内に立地する茨城県立こども病院の統合強化が、水戸保健医療圏の病院再編の方針として示された。

今後の安心できる市民生活、地域経済、そしてまちづくりの観点から、本議会は、下記の事項について特段の配慮を強く求めるものである。

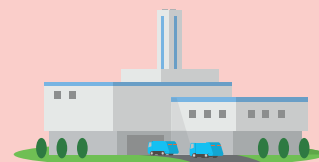
1. 統合後の立地場所及びアクセスの充実について
2. 市立病院及び診療所等との連携強化について
3. 市民等の受診環境の向上について
4. 地域経済の活性化について
5. 現在地の活用について

令和7年3月18日

笠間市議会



清掃施設整備等調査特別委員会 第2回中間報告（3月18日）



清掃施設の建設工事や周辺地域における生活環境向上施設等の整備について調査、検討するため設置された「清掃施設整備等調査特別委員会」の、第20回から33回までの調査結果について中間報告を行いました。主な内容を掲載します。

- 第1回中間報告以降、焼却施設とバイオガス発電施設を併設した場合の概算事業費やCO₂削減効果等について継続して調査を行い、意見を集約し、令和6年8月1日付で本委員会としての提言書を提出いたしました。
- 2月17日、執行部より新環境センター整備手法について、今後再検討するとの説明がありました。本委員会としては、今後の整備計画にあっては、地元の意見を最大限考慮した上で、慎重に進めるべきと考えております。
- ゆかいふれあいセンターについては、公共施設のあり方検討の中で、今後も継続して注視すべきと認識しております。執行部には、方針を定めたのち、市民への丁寧な説明に努めるべきであり、同時に地元住民への不安払拭を、最優先課題として取り組んでいただきたいと考えております。